

都道府県・保健所設置市・特別区に勤務する行政栄養士を対象とした調査

この研究は、令和2年度より3年間の予定で厚生労働科学研究の一環として実施されるもので、公衆衛生領域を中心に勤務する自治体栄養士のための効果的な育成プログラム開発を目指しております。本研究では、自治体ごとでの人材育成に関する実態や個別のニーズを収集し、育成プログラムの開発に反映させる方針と致しております。

つきましては、取り組みの趣旨や留意点等（別添）をよく読んでご理解いただき、本アンケート調査にご協力賜りますようお願い申し上げます（回答に要する時間は約20分程度）。

なお、本調査は無記名方式となっており、回答後の提出をもって、同意が得られたものとして取り扱わせていただきます。

この調査の対象となる方

現在、地域の健康づくりに関わる業務を専従もしくは兼務で担当しており、次の①と②の両方を満たす方が、調査対象となります。

① 厚生労働省の調査において、行政栄養士として回答している場合

② 雇用形態が常勤または常勤的非常勤（週4日以上で1日6時間以上の勤務）である場合

***現時点で、福祉・保育・高齢者・教育委員会・医療などの分野を専従で担当されている方は、対象外となります。**

研究代表者 由田 克士

(大阪市立大学大学院 生活科学研究科 食・健康科学講座 公衆栄養学 教授)

基本属性

問 1-1 年齢について

1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳以上
---------	---------	---------	----------

問 1-2 性別について

1. 女性	2. 男性
-------	-------

問 1-3 行政栄養士としての通算勤務歴

	勤務経験なし	3年未満	3年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上
衛生主管部局（本庁）で地域の健康づくりや栄養・食生活の改善の推進	1	2	3	4	5	6	7
保健所・保健センターで地域の健康づくりや栄養・食生活の改善の推進	1	2	3	4	5	6	7
食品衛生関連部局 （本庁、保健所ともに主担当が食品衛生関係）	1	2	3	4	5	6	7
高齢者関連部局	1	2	3	4	5	6	7
教育委員会	1	2	3	4	5	6	7
その他の勤務歴（具体的に： _____）	1	2	3	4	5	6	7

問 1-4 現在の勤務地について（都道府県で回答ください）

（ _____ ） 都道府県

問 1-5-1 現在勤務地している行政区分

1. 都道府県	2. 保健所設置市	3. 特別区
---------	-----------	--------

問 1-5-2 現在勤務している行政機関・部署

1. 本庁	2. 本庁・保健所（併設）	3. 保健所
4. 地域の保健センター	5. その他	

問 1-6 現在の職位（本庁での職位として勘案）

1. 係員	2. 監督職 （本庁係長、保健所課長相当）	3. 管理職（監督職以上）
-------	--------------------------	---------------

問 1-7 学歴（管理栄養士・栄養士資格の取得もしくは関連分野に関わる最終学歴）

1. 専門学校	2. 短期大学	3. 短期大学専攻科
4. 大学	5. 大学院修士（博士前期）課程	6. 大学院博士後期課程
※管理栄養士・栄養士資格の取得には結びつかない他の学歴（例えば、大学の文学部卒業など）を有する場合はお書きください。 （具体的に _____ ）		

問 1-8 論文作成の実績

	ある	ない
卒業論文を作成	1	2
修士論文を作成	1	2
博士論文を作成	1	2
専門分野の雑誌に筆頭著者として論文を掲載	1	2

問 1-9 資格

	ある	ない
管理栄養士	1	2
その他（具体的に _____ ）	1	2

自身の将来について

問 2-1 このまま現在の自治体に勤務し続けると仮定した場合、あなたは最終的にどのくらいの職位（本庁での職位として勘案）を目指したいと希望しますか。当てはまる内容をひとつ選んでください。

1. 係員	2. 監督職 （本庁係長、保健所課長相当）	3. 管理職（監督職以上）
-------	--------------------------	---------------

問 2-2 前問の回答の理由として関係がある内容として当てはまるものを、すべて選んでください（複数回答可）。

1. 他職種に負けないよう昇任して業務を行いたい。 2. 既に他職種や自身が目指す職位者と同等以上に業務を行える自信がある。 3. 昇任して人事権や予算権を持って業務を行いたい。 4. 昇任して自身や同僚の管理栄養士等が立案した施策を積極的に展開したい。 5. 昇任して組織内での管理栄養士等の定員を増やしたい。 6. 昇任して組織内での管理栄養士等の役職ポストを増やしたい。 7. 幅広く自治体の行政に関わり、大局的な視点から業務を行いたい。 8. 従前からの慣例で昇任できる職位は決まっている。
--

9. 昇任することよりも他職種との人間関係を重視したい。
10. 育児や介護を優先したいので、無理に昇任したくない。
11. 健康上の理由で、無理に昇任したくない。
12. 自分自身が自由に使える時間を減らしたくないので、無理に昇任したくない。
13. 昇任することで、過大な責任を負いたくない。
14. 自身に昇任するだけの学力や能力は備わっていないと思う。
15. 現状に満足しているので、昇任する必要性を感じていない。
16. その他の理由(自由記載:)

問2-3 あなたの将来の方向性について、最も当てはまる内容を3つ以内で選んでください。

1. 栄養のスペシャリスト(注1)として、このまま業務を行いたい。
2. 栄養のスペシャリスト(注1)として、昇任して業務を行いたい。
3. 公衆衛生関係のゼネラリスト(注2)として、このまま業務を行いたい。
4. 公衆衛生関係のゼネラリスト(注2)として、昇任して業務を行いたい。
5. 国や他自治体に転職をしたい。
6. 自身の能力をさらに発揮するため、健康づくり業務以外の部署(行政部局内)に異動したい。
7. 自身の能力をさらに発揮するため、健康づくり業務以外の部署(行政部局外の病院など)に異動したい。
8. 自身の特性に合致しないため、過去に勤務していた健康づくり業務以外の部署に異動したい。
9. 職種転換(事務職等)をしたい。
10. 行政以外の仕事に転職したい(大学等の教員や研修職)。
11. 行政以外の仕事に転職したい(大学等の教員や研修職以外)。
12. 退職したい(働く気持ちはない)。

(注1) スペシャリスト: 専門分野や特定の領域に特化した知識や技術を持つ人

(注2) ゼネラリスト: 広範な知識や技術を持って部署やチーム全体を広い視野で見渡し、采配を振るマネジメントや調整役

問3 あなた自身の将来(10年後もしくは、退職前まで)にとって、スキルアップしておかなければならない内容のうち、特に重要と思われる内容を全体から3項目以内で選んでください。

1. 行政能力(職業倫理、行動規範等)
2. 専門能力(専門分野の知識、栄養指導技術等)
3. 地域支援力(他職種連携、住民との協働等)
4. 調査研究能力(情報収集、データ分析解析、実践研究報告(論文)等)
5. 調整能力(リーダーシップ、合意形成、論理的な説明、コミュニケーション等)
6. 政策形成能力(PDCAサイクルに基づく政策形成と評価等)
7. 情報発信能力(プレゼンテーション、仕事の見える化等)
8. 組織運営能力(「人・もの・予算」の適切な獲得)
9. 危機管理能力(災害・食中毒・感染症等への対応等)
10. その他(自由記載:)

職能団体の入会状況とその理由

問4-1 現在、職能団体(日本(都道府県)栄養士会や全国保健所管理栄養士会)に1団体以上入会していますか。

1. 入会している →問4-2へ
2. 入会していない →問4-4へ

問4-2 問4-1で「入会している」と回答した方のみにおたずねします。入会している理由として当てはまるものを、すべて選んでください（複数回答可）。

- | |
|---|
| 1. 必要な情報や知識・技術が得られるため。
2. 他分野の管理栄養士等と関わり、自身の仕事の幅を広げたり、新たな人間関係を構築したかったため。
3. 職能団体としての社会的地位向上に貢献したいため。
4. 養成施設の教員や先輩栄養士等の関係者より入会を勧められたため。
5. 職務上入会する必要があったため。
6. その他(自由記載:) |
|---|

問4-3 問4-1で「入会している」と回答した方のみにおたずねします。

職能団体が開催する集合型の研修会や勉強会、あるいは、Webなどを活用した遠隔での研修(e-ラーニング等)について、直近の1年間、何回参加しましたか。当てはまる選択肢をひとつ選んでください。

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. 3回以上 | 2. 1回～2回 | 3. 参加していない |
|---------|----------|------------|

問4-4 問4-1で「入会していない」と回答した方のみにおたずねします。

入会していない理由として当てはまるものを、すべて選んでください（複数回答可）。

- | |
|---|
| 1. 会費に見合っただけのメリットがない。
2. 特に入会しなくても、必要な情報や知識は、職場、所属する学会誌、インターネット等から得られる。
3. 役員などの業務を引き受けたくない。
4. 日常、支援・指導している他分野の管理栄養士等と関わりたくない。
5. 自身のプライベートを大切にしたい。
6. 会費の未納等の理由により、いつの間にか退会扱いとなった。
7. 特に理由はない(入会する機会がなかった)。
8. その他(自由記載:) |
|---|

関連学術団体の所属状況とその理由

問5-1 現在における関連学術団体の入会状況をお答えください。

	入会している	入会していない
日本公衆衛生学会	1	2
日本栄養改善学会	1	2
日本健康教育学会	1	2
日本栄養・食糧学会	1	2
その他(具体的に)	1	2

問5-2 問5-1でひとつ以上、入会していると回答した方のみにおたずねします。入会している理由として当てはまるものを、すべて選んでください（複数回答可）。

- | |
|--|
| 1. 会費に見合っただけのメリットがあるため。 |
| 2. 業務の実績等を発表・発信するため。 |
| 3. 所属することで、職場では得られない必要な情報や知識が得られるため。 |
| 4. 役員などの業務を通じて、職種としての資質向上に活かしたいため。 |
| 5. 他職種や他分野の管理栄養士等と関わり、自身の仕事の幅を広げたり、新たな人間関係を構築するため。 |
| 6. 認定資格等を新たに取得したり、継続・維持するため。 |
| 7. その他（自由記載： _____） |

問5-3 問5-1で何れの学術団体にも所属していない方のみにおたずねします。所属していない理由として当てはまるものを、すべて選んでください（複数回答可）。

- | |
|---|
| 1. 会費に見合っただけのメリットがない。 |
| 2. 特に入会しなくても、必要な情報や知識は、職場、所属する学会誌、インターネット等から得られる。 |
| 3. 役員などの業務を引き受けたくない。 |
| 4. 他職種や他分野の管理栄養士等と交流する必要性を感じないため。 |
| 5. 自身のプライベートを大切にしたい。 |
| 6. 会費の未納等の理由により、いつの間にか退会扱いとなった。 |
| 7. 特に理由はない（入会する機会がなかった。）。 |
| 8. その他（自由記載： _____） |

問6 日本栄養士会・都道府県栄養士会、全国保健所管理栄養士会、関連学術団体以外が開催する集合型の研修会や勉強会、あるいは、Webなどを活用した遠隔での研修（e-ラーニング等）について、直近の1年間に何回参加しましたか。当てはまる内容をひとつ選んでください。

- | | | |
|---------|----------|------------|
| 1. 3回以上 | 2. 1回～2回 | 3. 参加していない |
|---------|----------|------------|

問7-1 あなた自身のスキルアップのため所属・入学・受講してみたい外部機関や取り組みについて、あなたが希望する順位を7つの選択肢（A～H）から選んでつけてください。

- | | | | |
|-------------------------------|-----|-----|-----|
| 1位： | 2位： | 3位： | 4位： |
| 5位： | 6位： | 7位： | |
| A. 国立保健医療科学院（注3） | | | |
| B. 栄養系の大学院 | | | |
| C. 医学系の大学院（公衆衛生大学院を含む） | | | |
| D. その他の分野の大学院（教育、福祉、工学、理学など） | | | |
| E. 職能団体の研修（認定資格制度に関わる研修も含む） | | | |
| F. 関連学術団体の研修（認定資格制度に関わる研修も含む） | | | |
| G. その他（自由記載： _____） | | | |
| H. 該当無し | | | |

（注3）埼玉県和光市に設置されている厚生労働省の機関。保健、医療、福祉に係る職員などの教育訓練や、それらに関連する調査及び研究を行う。

問7-5 自身の将来のために必要なスキルアップについて、思うところを自由に記載してください。

問8 環境が整備され、自身がスキルアップを開始しようとする際、必要なことは何ですか。理由として最も当てはまるものを、3つ以内で選んでください。

1. 職場の人員増
 2. 業務負担の軽減
 3. 業務の効率化
 4. 時間が確保できること
 5. 金銭面の支援や確保ができること
 6. 家族からの理解や協力が得られること
 7. 上司や同僚からの理解や協力が得られること
 8. 通学・参加のしやすさの向上
 9. 一緒に学ぶ仲間ができること
 10. スキルアップしようとする意欲の向上

問9 あなたが勤務する地方公共団体のすべての管理栄養士のうち、10年後に最も高い職位となる者が得てほしい職位（本庁での職位として勘案）として当てはまる内容をひとつ選んでください。

- | | | |
|-------|--------------------------|---------------|
| 1. 係員 | 2. 監督職
(本庁係長、保健所課長相当) | 3. 管理職（監督職以上） |
|-------|--------------------------|---------------|

問10 現在の職場において、あなたが業務を遂行するに当たって、日常的に連携している職種をすべて選んでください（複数回答可）。

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 他分野の管理栄養士・栄養士2. 医師3. 歯科医師4. 保健師5. 助産師6. 看護師7. 薬剤師8. 歯科衛生士9. 獣医師10. 臨床検査技師 | <ol style="list-style-type: none">11. 介護支援専門員12. 介護福祉士13. 理学療法士14. 作業療法士15. 言語聴覚士16. 食品衛生監視員17. 事務職18. その他
(具体的に：) |
|---|--|

問 1 1 職場内外を問わず、行政栄養士が連携することが理想である職種は何ですか。特に重要だと思ふ職種を、5つまで選んでください。

1. 他分野の管理栄養士・栄養士	11. 介護支援専門員
2. 医師	12. 介護福祉士
3. 歯科医師	13. 理学療法士
4. 保健師	14. 作業療法士
5. 助産師	15. 言語聴覚士
6. 看護師	16. 食品衛生監視員
7. 薬剤師	17. 事務職
8. 歯科衛生士	18. その他
9. 獣医師	(具体的に：)
10. 臨床検査技師	

問 1 2 あなたには、自身のキャリアプラン（注5）はありますか。

1. ある	2. ない	3. 検討中
-------	-------	--------

（注5）キャリアプラン：今後の自分の働き方や、理想像などを目標に設定して、その目標を達成するために計画を立てることをいいます。

問 1 3 あなたは、ビジョンや目標（短・中・長期）を掲げて仕事していますか。

1. している	2. していない	3. 検討中
---------	----------	--------

問 1 4 あなたには、目標とする栄養士像もしくは人物像（将来の目標到達に向けて、備えたい能力や能力を身に付けるためにすべきこと）はありますか。

1. ある	2. ない	3. 検討中
-------	-------	--------

問 1 5 ライフワークバランスについて、あなたの意見を自由にお書きください。

--

問 1 6 これまでで、最も印象に残ったり、自身の転機となった業務は何ですか。自由にお書きください。

--

問 1 7 仕事の成果を継続することや、後輩育成について、あなたの意見を自由にお書きください。

--

問 18 都道府県・保健所設置市・特別区に勤務する管理栄養士・栄養士として、10年後に目指すべきこと、スキルアップに関することなど、あなたの意見を自由にお書きください。